



仁保中だより

令和2年
(2020年)
7月16日

生徒数
41人
(7/1 現在)

校訓 (昭和63年制定)

自主 友愛 創造

TEL (083)
929-0028

仁保中学校はこのような姿をめざします。



6月30日(火)に令和2年度第1回学校運営協議会が仁保小学校と合同で開催され本年度の学校教育目標と経営方針が承認されました。生徒の健やかな育ちと確かな学びのため、地域ともつながり合いながら、教育活動をすすめてまいります。今年は感染症対策で例年通りとはならないことも多いですが、保護者・地域の皆様も生徒を育てるパートナーとしてご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

<学校教育目標>

ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく未来を生き抜く生徒の育成

めざす生徒のすがた

- ・さわやかな生徒 (広い心、温かい心)
(思いやり・高い感性・自己有用感をもつ)
(自他を尊重する言動ができる)
- ・学び合う生徒 (学ぶ力、創る力)
(かかわり合いながら学びに向かう)
(問い続けることができる)
- ・たくましい生徒 (生き抜く力、燃える心)
(活力・体力・安全意識をもつ)
(仲間とともに粘り強く課題解決に取り組める)

めざす学校のすがた

学び合う教室、育ち合う学校、
誇りがもてる学校＝<学び舎と呼べる学校>

互いのよさを認め合う『学び合う教室』では、生徒たちは安心して「わからない、教えて。」と言えます。そして地域にも開かれ、生徒のより良き育ちのために生徒を中心に置いて大人も智恵と力を出し合い、ともに『育ち合う学校』でありたいと考えます。自分たちを応援してくださるふるさとに誇りをもって、仁保中学校で学び自信をもってよかったと思って巣立っていくような学校をめざします。

本年度の重点事項

- 1 思いやりと自律の心の育成
- 2 学ぶ機会・場面の保障による本物の学力の育成
- 3 健やかな心身づくり
- 4 「地域とともにある学校」づくり

経営方針

道徳教育を中核に置いて、自己有用感を高めるように、価値付けを重視した組織的・計画的な教育活動を展開する。【本校の道徳重点内容項目】「克己と強い意志」「寛容」「郷土愛」「よりよく生きる喜び」

めざす学校のすがたとなるように、私たちは次のような課題と手立てを皆さんと共有し、課題解決に努めてまいります。

- ① 生徒の自己受容(自分はどんな人かを知ること)を促し、自己有用感を育て、自信をもたせるための指導・支援が必要である。
- ② 生徒個々の育ちや学びに応じた方法で支援する必要がある。
- ③ 活動の意味を考えさせ、学習や将来への見通しをもたせたい。
- ④ 他者は私の仲間であるという意識、言葉と行動で伝える力を身に付けさせたい。
- ⑤ 集団の変化が少ないので出会う人や場面を変えることによって多様な価値に出会わせ、世界観を広げさせたい。

「仁保の15年間で、こんな子どもを育てたい」(令和元年『熟議』を経て策定)

・仁保が大好きな子 ・自分で考えて動く子 ・人やものを大切にする子

チャレンジ目標

◇こころのこもったあいさつをする

◇時間厳守を徹底する